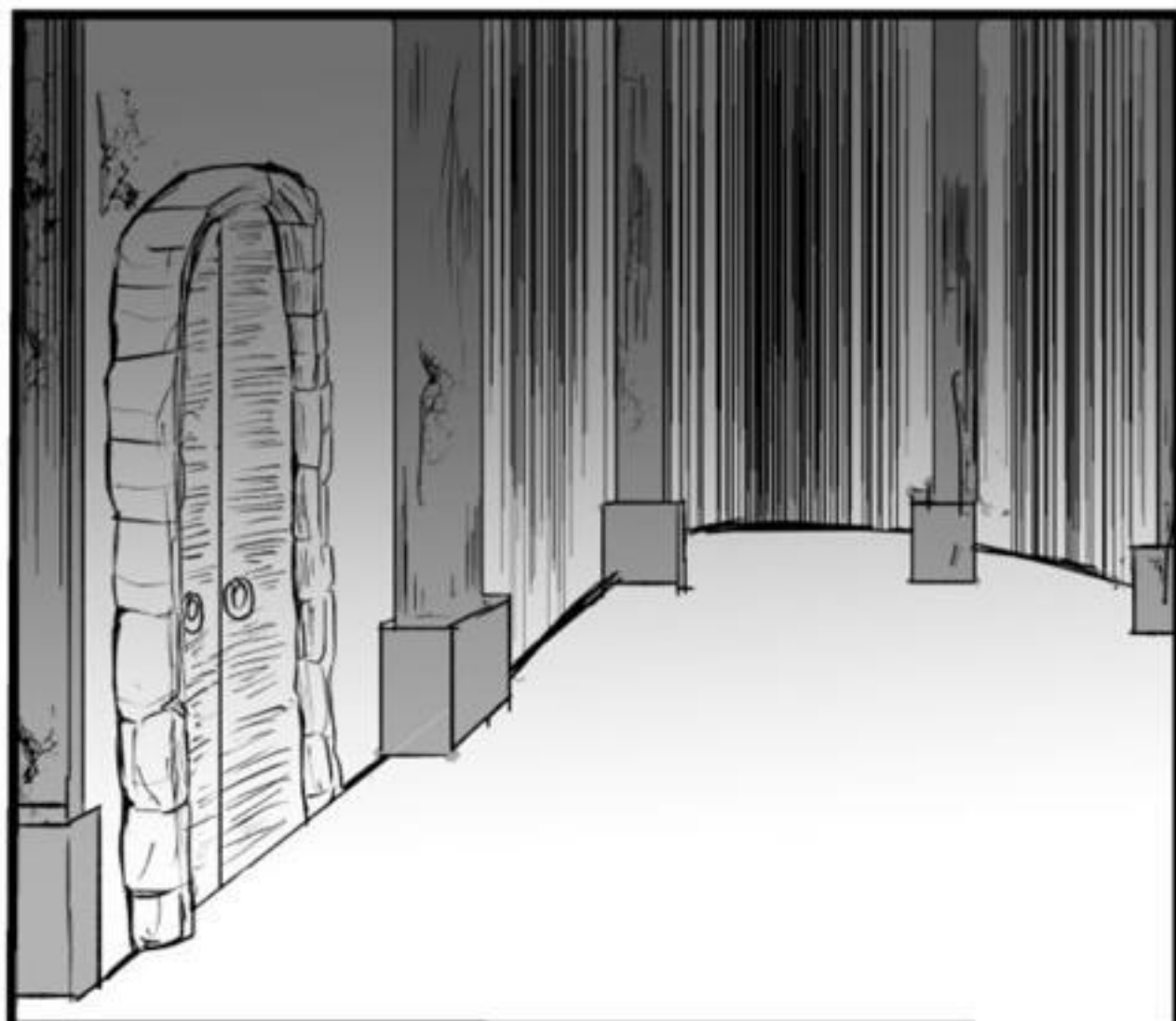
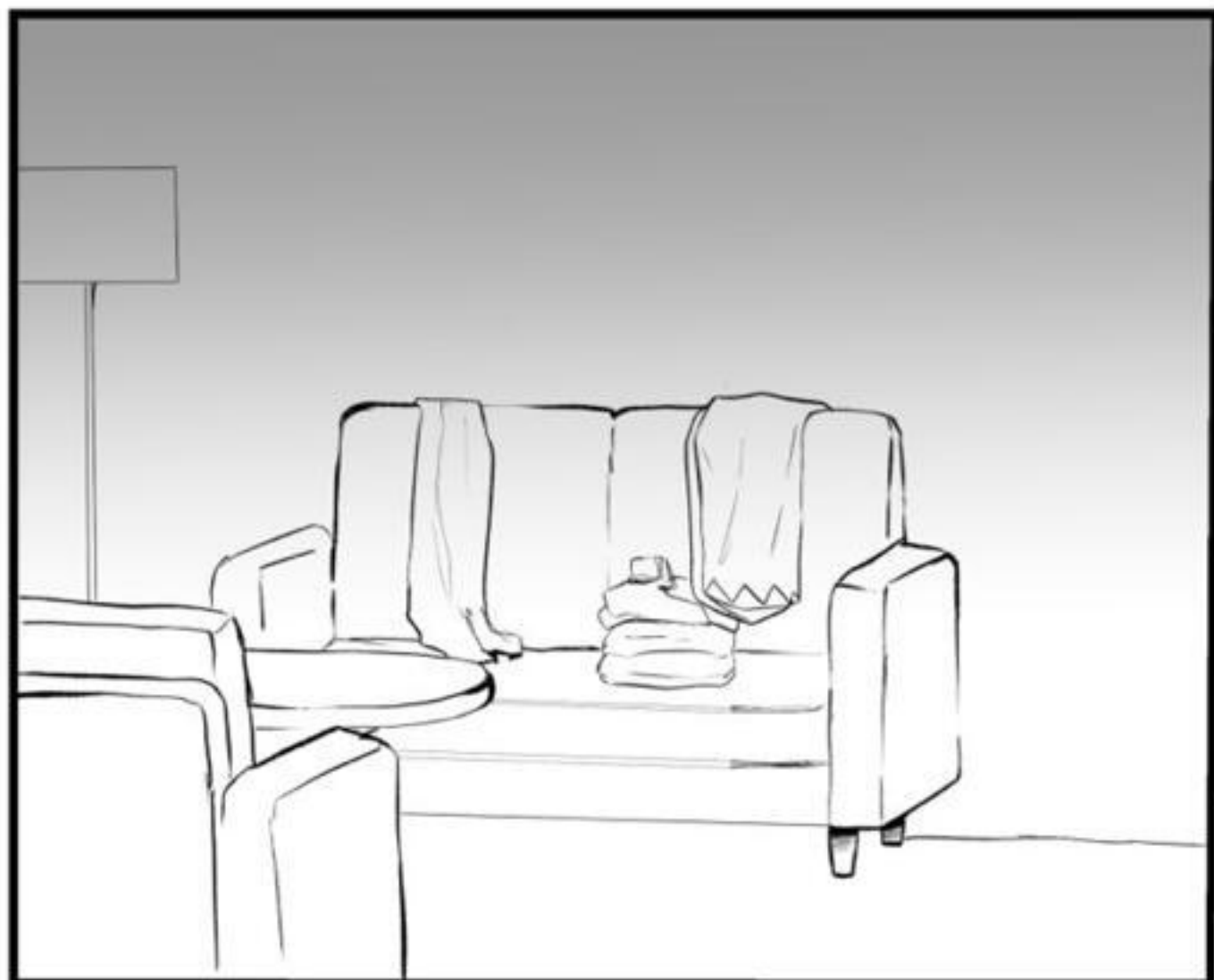


君が
壊した
世界









うん



じゃあ君から僕に触れてみなよ

そっちの方がハードルが下がるだろう



ふわっ♡



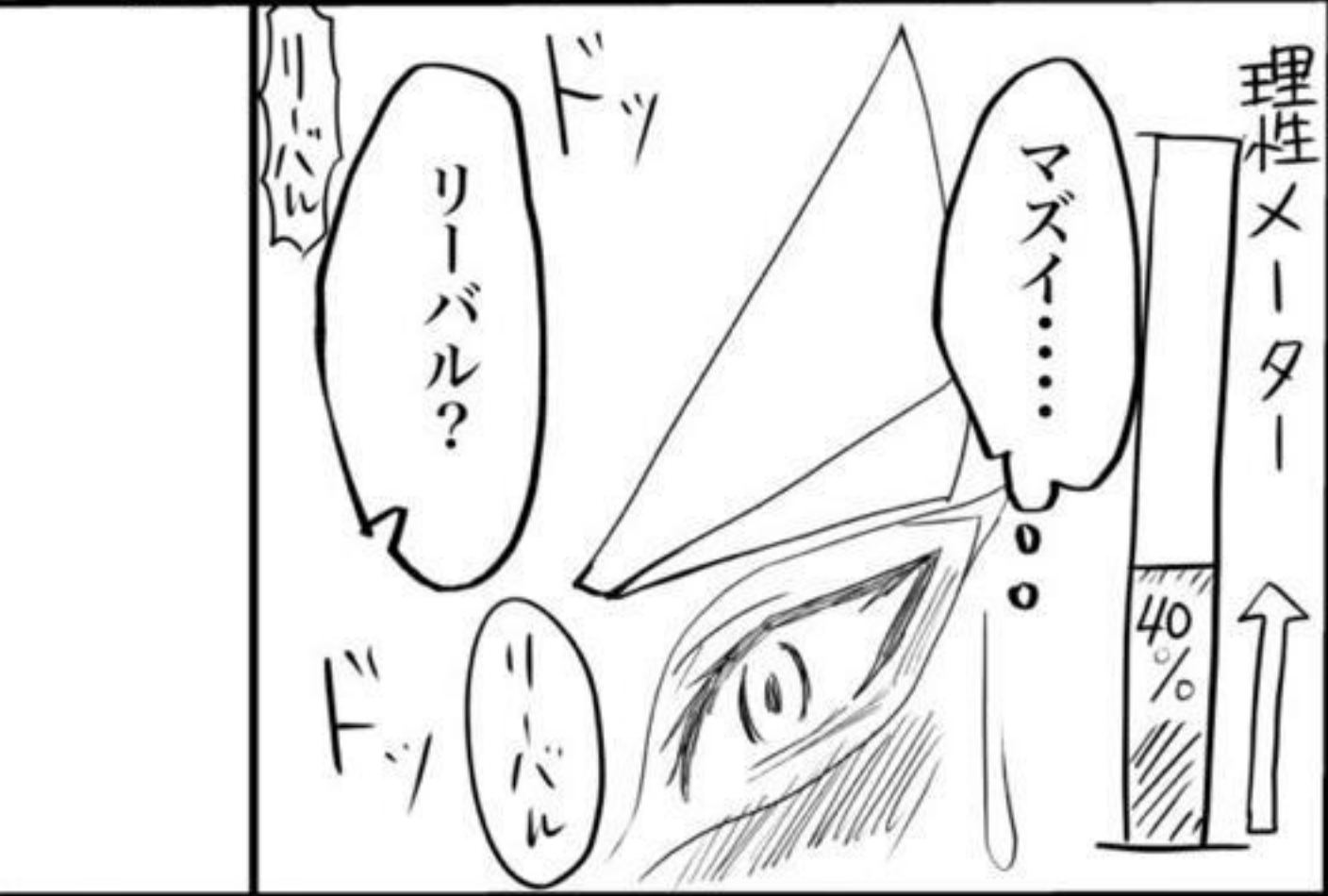
何だよ……



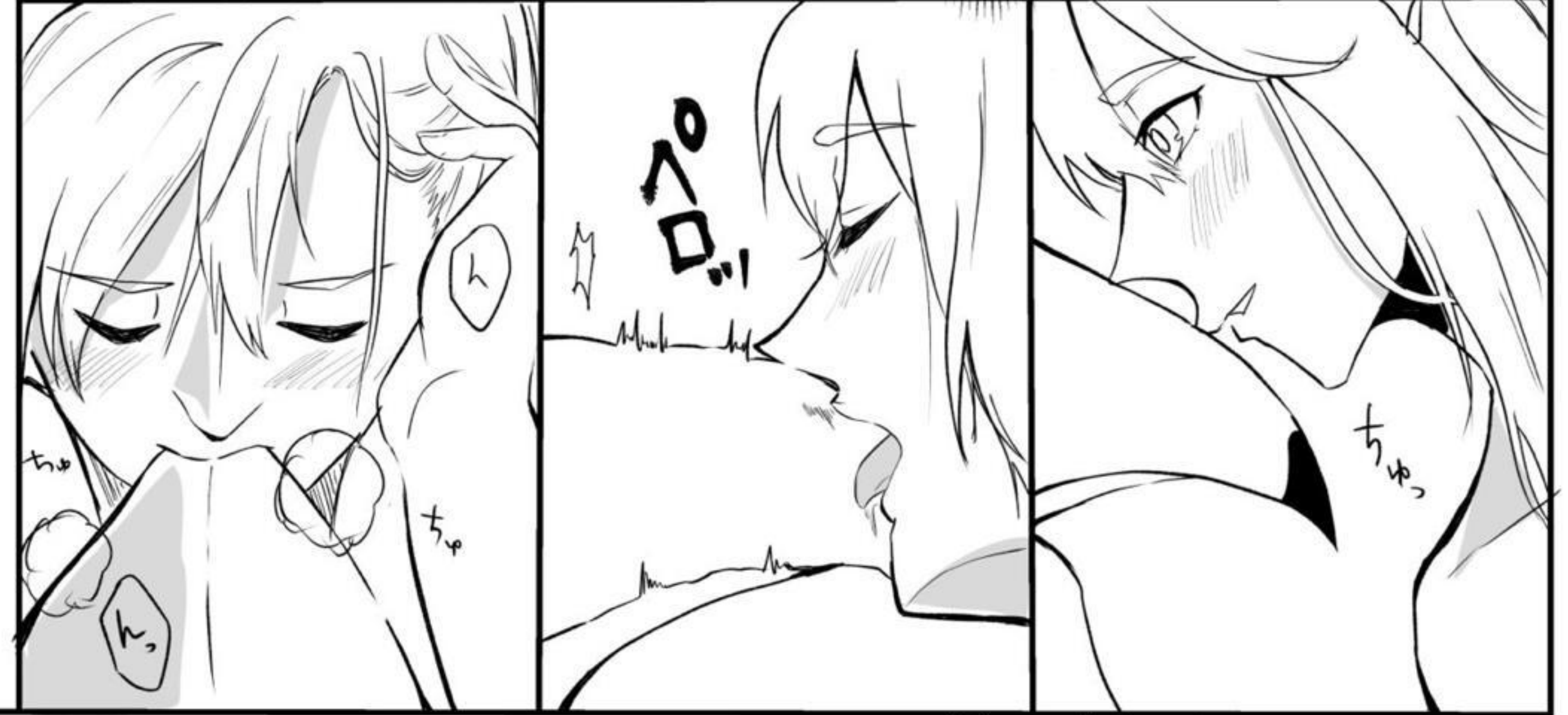
フワフワだ……

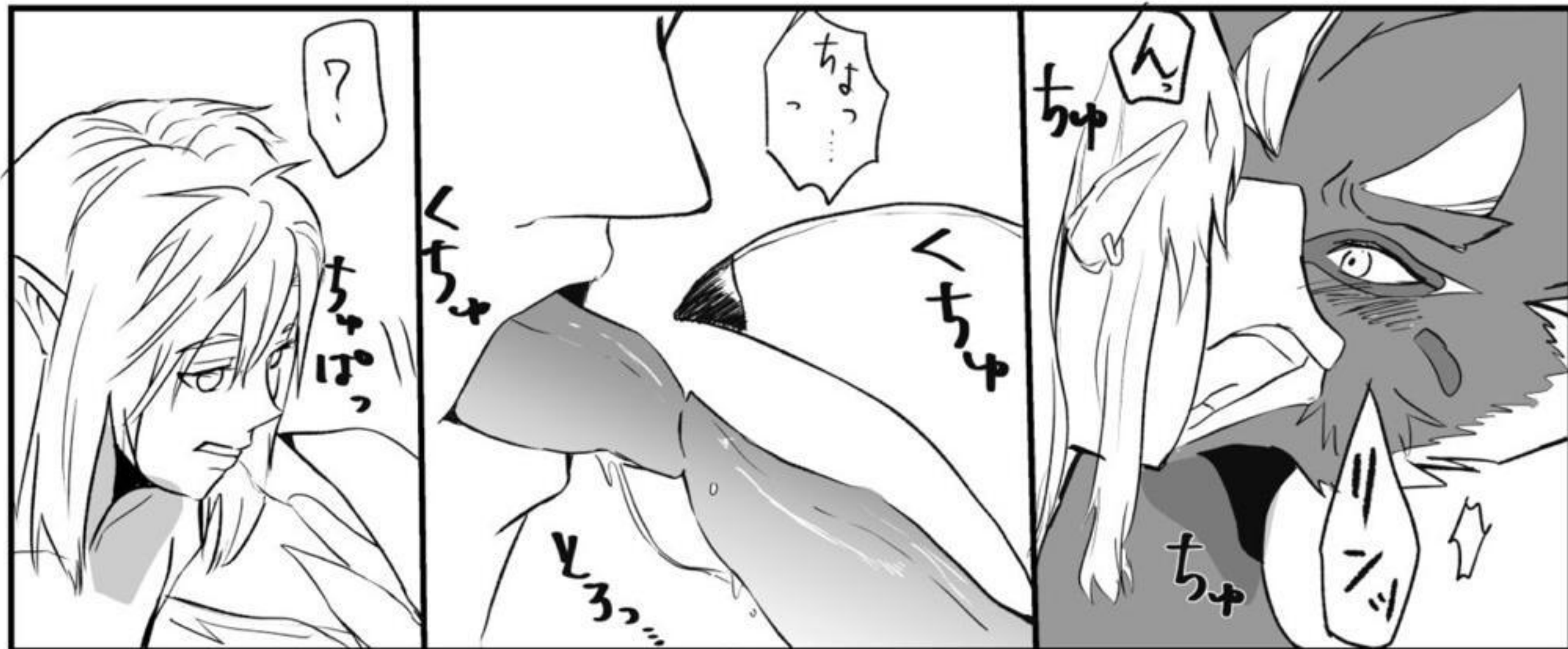
ほわっ♡

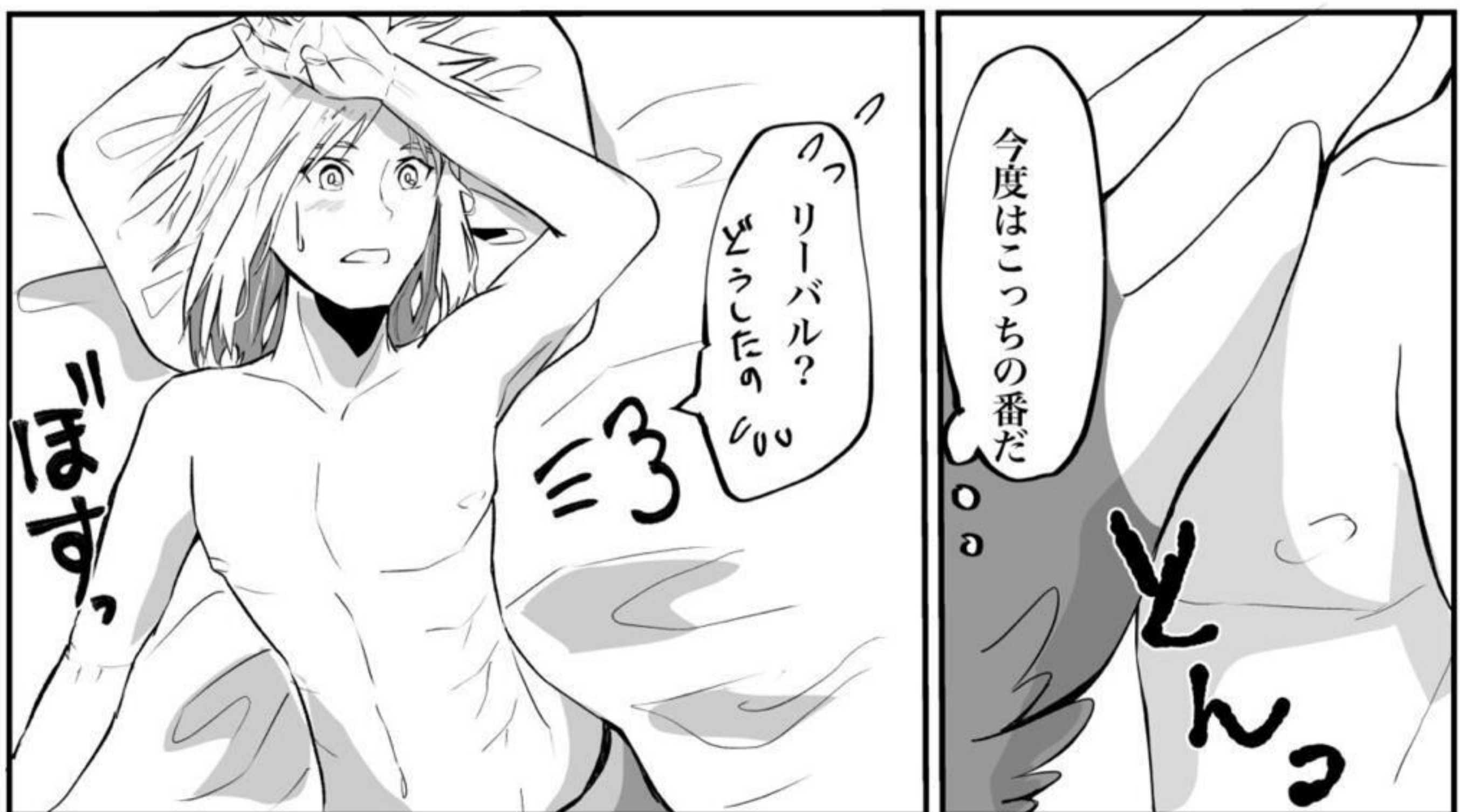
















カキ

はあああ？



少しは話を聞けよ
クソリリーバル！



なっ！

だって君！
僕が触ると嫌がって



嫌がってない！

川
っ
じゃあ何で！



……
アイツに……



声を出すなって
耳に触る声だからって……



リーバルには
俺のこと
信じて欲しかった



リンク……その……
僕……

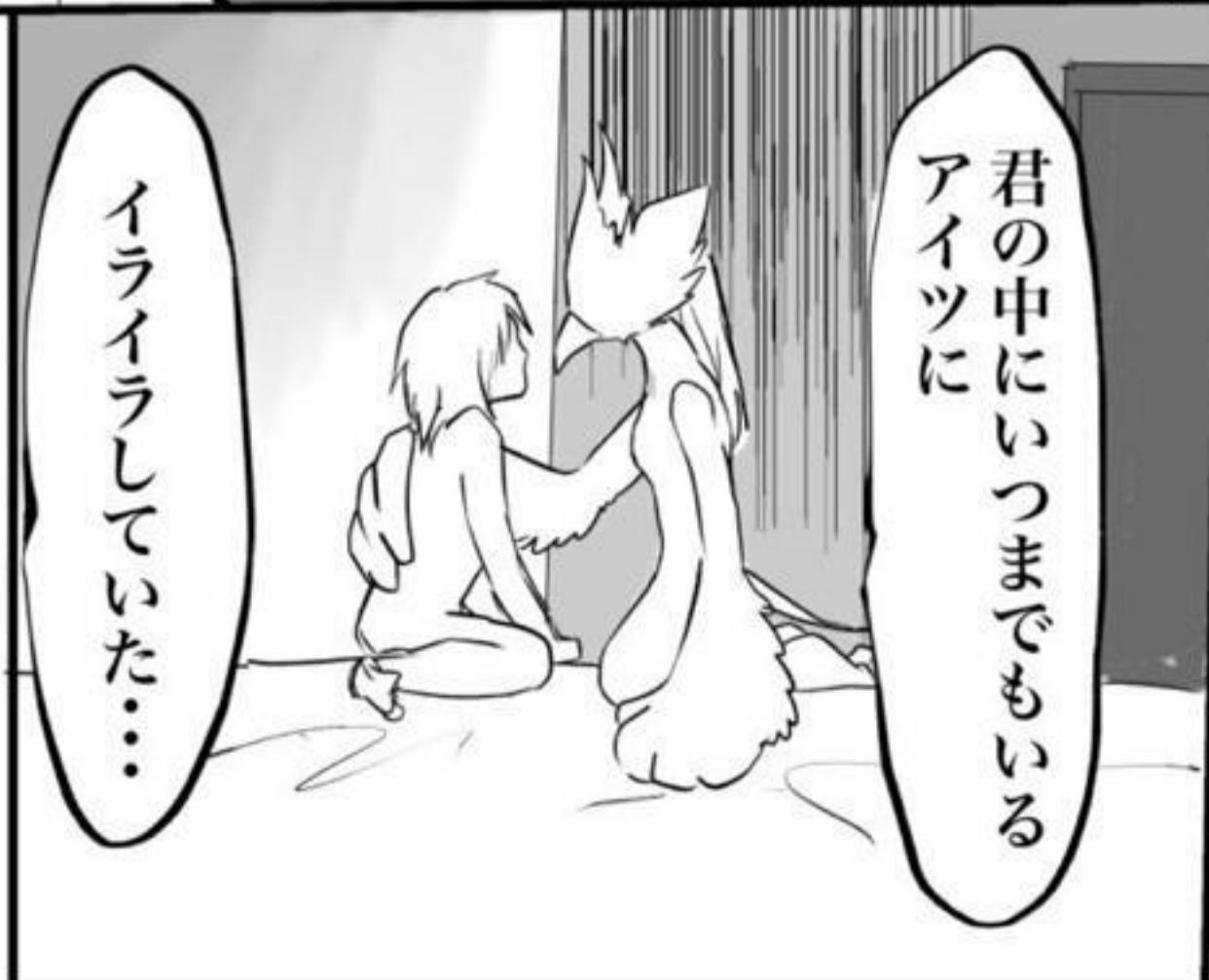
いいよ……
もうやめよう



君の言う通り
僕はバカだ!

リッ
リーバル!?

あーもうっ



君の中にいつまでもいる
アイツに

イライラしていた……



ごめん

君と向き合うって
決めたのに



僕は君の全てを
受け入れたい

君の感じている声も
顔も知りたい

愛してるよ
リンク……

だから僕の前では
我慢するなよ

リーバル

俺……

分かっている

マズイな...

あ、
くちゅ
くちゅ
ん

ん
は、

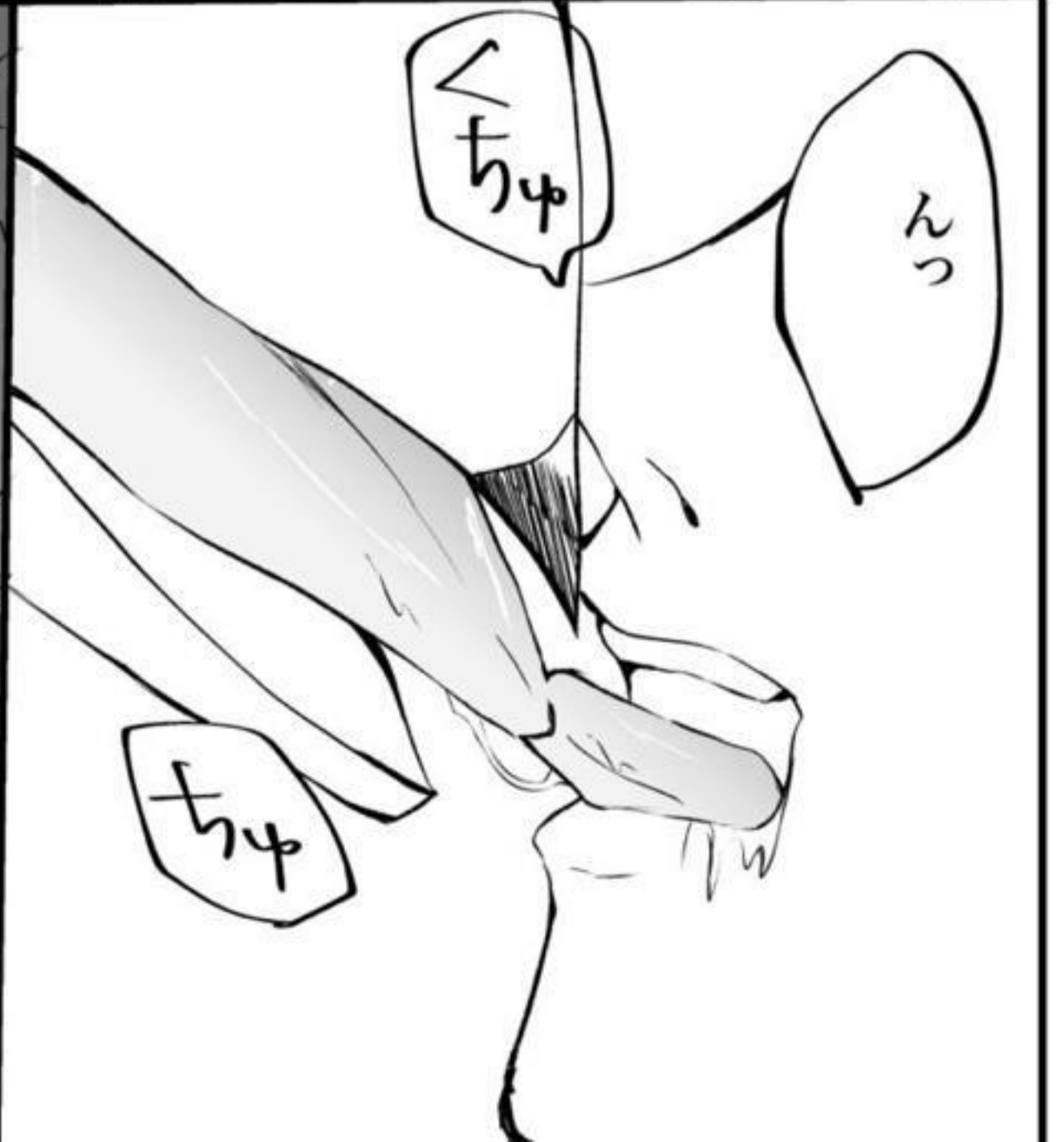
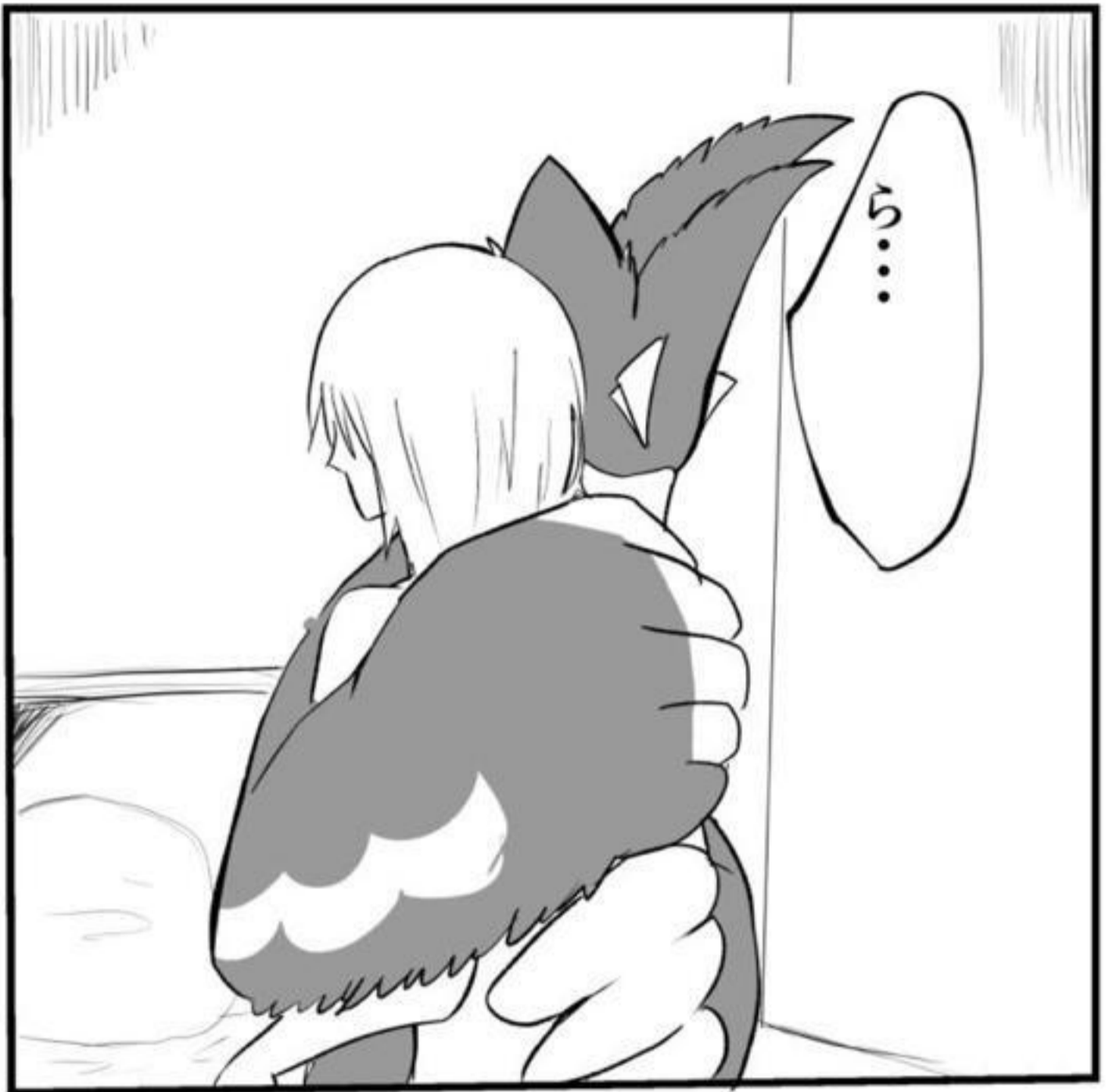
フッ
コホッ

ん、
これ以上
リンクを見てもらえない...

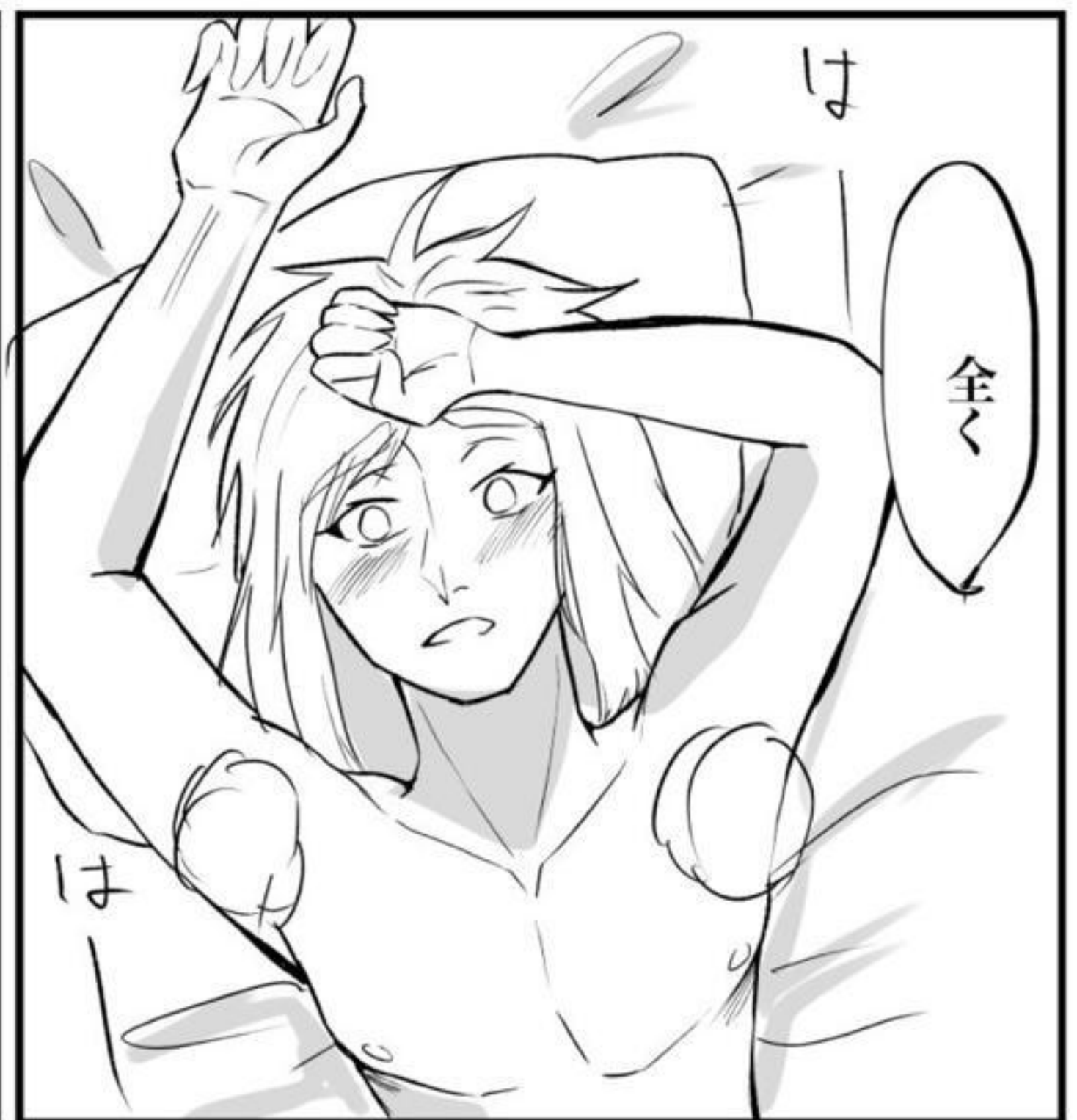
あと少しで終わるか...
時間かかってごめん!

ん、

かあああ
ちよっと大胆すぎや
しな...
リール...?







度し難いやつだな……

何だよそれ！

それにしても
許せないね

何が？

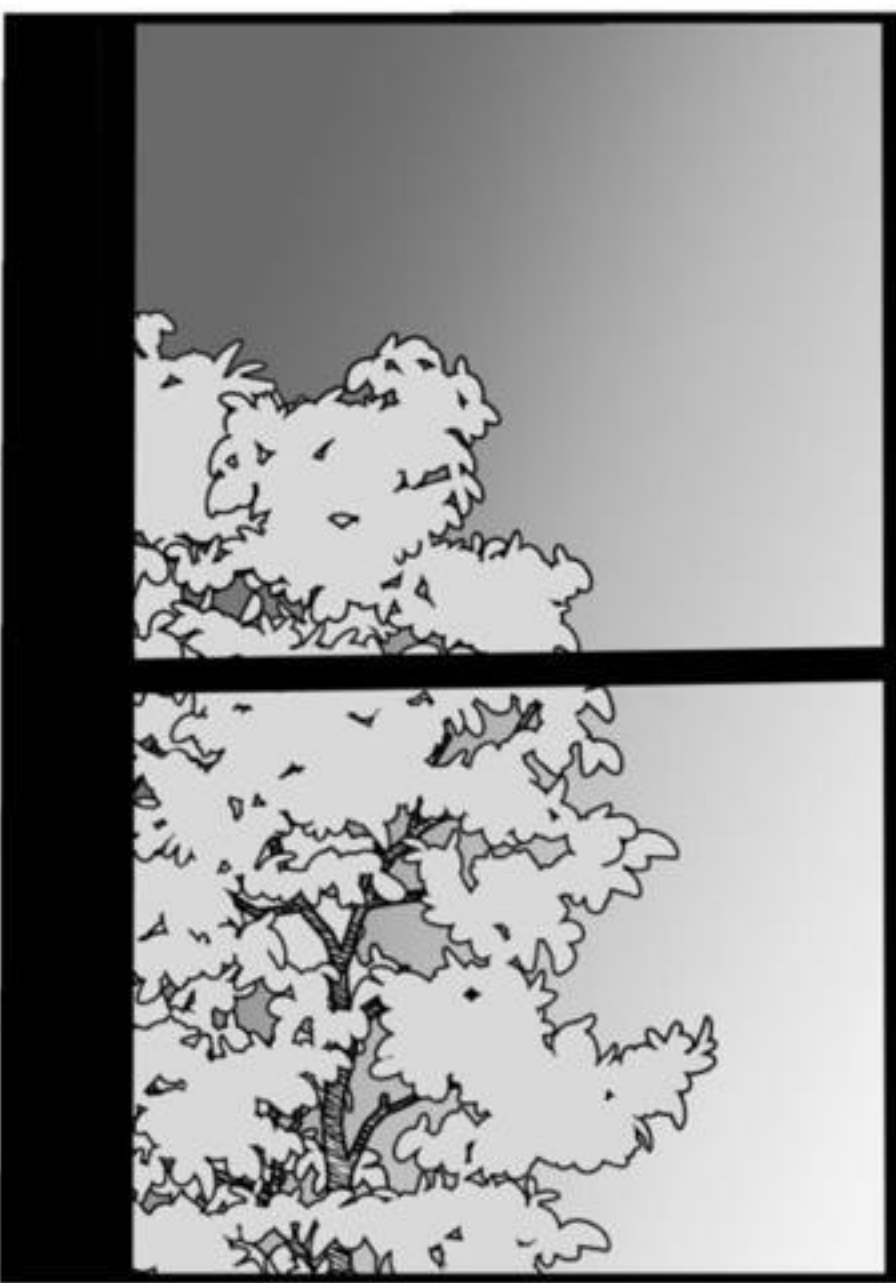
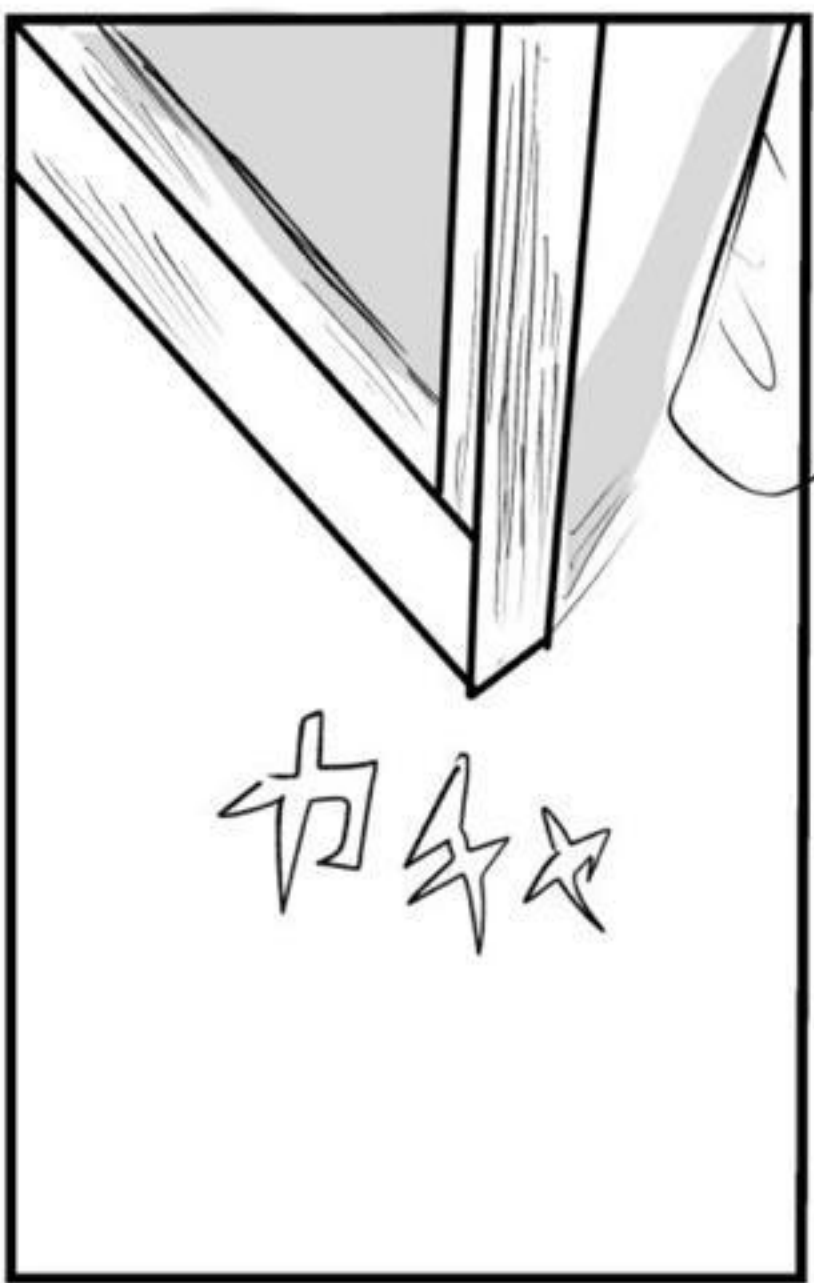
例の騎士長
いつまでも君の中に
大きな影を残してる

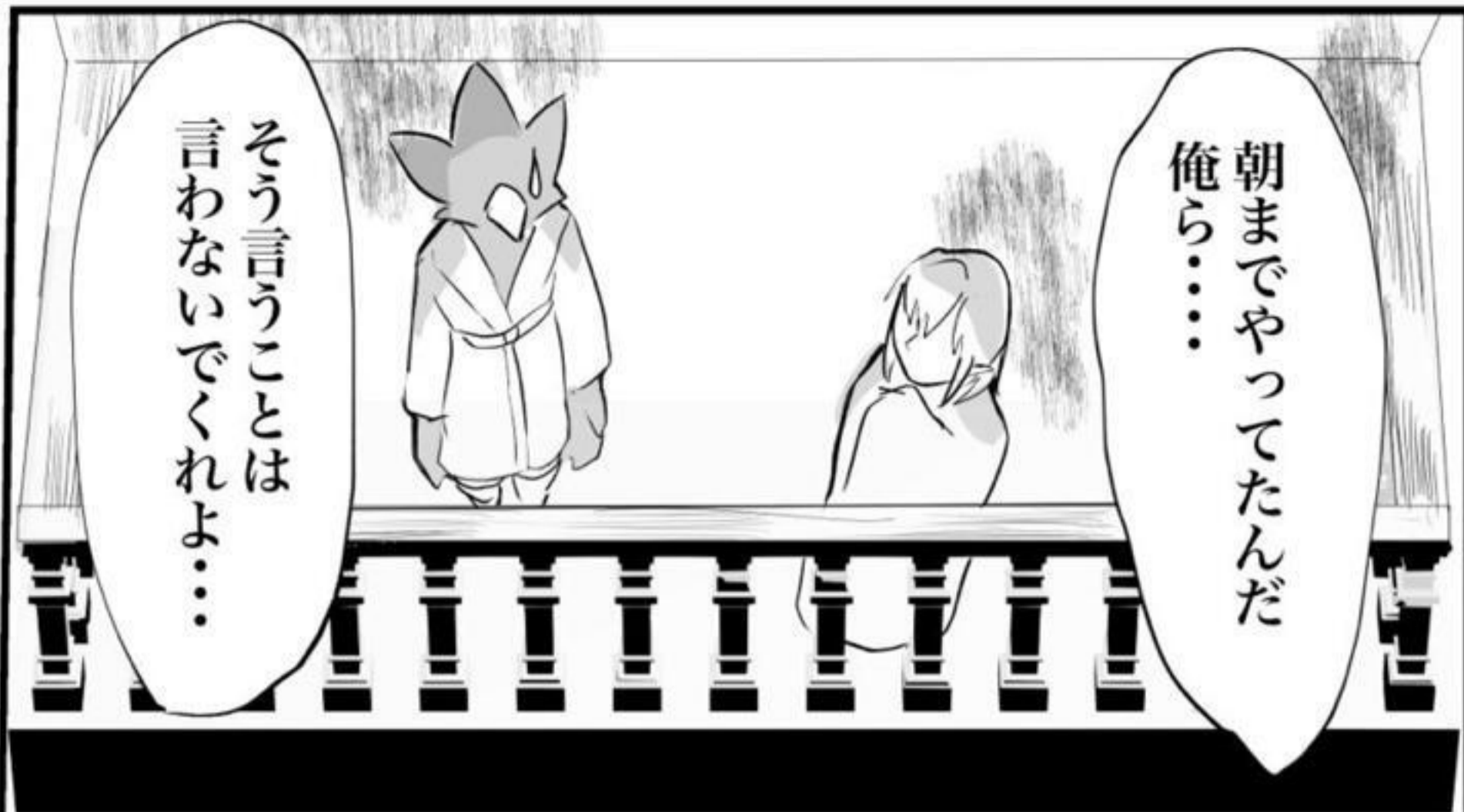
悪い意味でな

はっ

もし彼が生きていたら
僕が息の根を止めていたよ

本気だ





終わり